

赤木元蔵先生
追悼演奏会

とき 昭和59年2月11日 14:00

ところ 倉敷市民会館

主催 倉敷市文化連盟
倉敷市自主文化事業協会
倉敷市教育委員会

ご あ い さ つ

倉敷市文化連盟会長 松 枝 喬

赤木元蔵先生が逝去されて、すでに一年余が過ぎました。

文化連盟傘下の各種展覧会・発表会・諸行事は毎年盛大に開催されておりますが、赤木先生はくまなくその会場に足を運ばれ、親しく激励された温顔が、いまでも眼前にほうふつとします。

かつて、「鬼手仏心」としたためられた額を先生のお宅で拝見して、核心を衝かれた思いに打たれました。外科医として鋭いメスをふるわれながら、「医は仁」に徹する先生の真隨にふれた思いがして感動いたしました。先生の八十五年のご生涯は、まさにこの言葉に集約されたともいえましょう。

先生は赤木外科病院長の激務のかたわら、文化・社会・行政の各界にわたり精力的に活躍され、倉敷市のみならず県教育委員長、県公安委員長、県文化財保護協会長の要職を長きにわたって歴任され、この間、県文化賞・山陽新聞賞・三木記念賞・倉敷市文化章を受賞されました。また倉敷市文化連盟会長の要職にあって、本市の文化振興に尽力されましたことはみなさまご承知のとおりであります。その該博な知識と先見の洞察力、すぐれた指導性を持たれた先生の高潔なご人格は、わたしたちひとしく讃仰してやまないところであります。

本日、倉敷市文化連盟が主催して、「赤木元蔵先生追悼演奏会」が、多くの方のご協力により開催されるにあたり、改めて先生のご遺徳に思いをいたす次第でございます。

倉敷市教育委員会教育長 三 島 一 夫

毎日、厳しい寒さが続いております。

このたび、倉敷市文化連盟におかれましては、亡き赤木会長を偲ばれて追悼の音楽会を催されると聞きました。

赤木先生が、倉敷市の文化の向上に、文化財の保護に尽された功績は今更申しあげるまでもなく、誠に多大なものがございます。

昭和42年2月、倉敷・児島・玉島三市の合併に伴い倉敷市として一体となった自治体として、住民感情との一日も早い一体感の醸成に心を配られ、他の諸団体に魁けて、文化団体の一本化をなし逐げられ、爾来、会長として指導をしてこられました。

その遺徳を偲んで今回、洋楽・邦楽を併せて演奏会が催されますことは、先生の中広く、奥深い教養と活躍を示すものであります。

この会を企画・準備された関係の皆様方に心から敬意と感謝を申し上げます。

どうか、演奏会が盛大に催されますとともに、赤木先生のご遺徳を偲ぶにふさわしい会となりますよう、心からお祈りしごあいさつといたします。

略 歴

明治30年 6月27日 備中国賀陽郡
総社町字市場482番地（現 総
社市総社2丁目）に生まれる。

大正11年 5月 千葉医学専門学校
卒業。卒業と同時に恩賜財団
済生会大阪府病院外科に勤務。

大正12年 7月 倉紡中央病院（現
倉敷中央病院）開院と同時に
外科に勤務。

大正15年 4月 倉敷町栄町449番
地に外科医院を開設。

昭和7年 2月 栄町576番地（現
阿知1丁目13番7号に）赤木
外科病院を開設。

昭和14年 5月 倉敷市体育協会々
長。

昭和17年 4月 倉敷市医師会々長。

昭和29年 4月 岡山県学校保健推進協議会々長。

昭和30年 10月 岡山県教育委員会委員長。

昭和31年 5月 岡山県表千家同門会副会長。

昭和32年 7月 倉敷ロータリークラブ会長。

昭和36年 10月 倉敷市文化連盟会長。

昭和37年 11月 倉敷市文化章。

昭和41年 10月 藍綬褒章。

昭和43年 5月 岡山県文化財保護協会々長。

昭和44年 7月 岡山県公安委員長。（6期）

昭和45年 3月 岡山県文化章。

昭和47年 11月 叙勲四等瑞宝章。

昭和49年 8月 岡山県三木記念章。

昭和52年 1月 山陽新聞賞。

昭和52年 8月 関西書道専門学校々長。



・下津井節

岡山県民謡

河田 文忠 編曲

・翼をください

村井 邦彦 作曲

山上 路夫 作曲

越部 信義 編曲

指揮 鈴鹿 正

伴奏 津島 裕子

4. 三 曲 倉敷三曲同好会

菊 の 栄

宮城 道雄 作曲

三絃独奏 渡谷 幸代

箏独奏 佐伯 明彦

指揮 小山 裕章

合唱 倉敷市民合唱団

5. 吹 奏 楽 倉敷市民吹奏楽団グリーンハーモニー

・イン・メモリアム フルフレッド・リード 作曲

・天使ミカエルの嘆き 藤田 玄播 作曲

指揮 佐藤 道郎

6. 管 弦 楽 倉敷管弦楽団

交響曲第3番「英雄」 ベートーベン 作曲

「第1楽章」 op 55

指揮 菊池 東

プログラム

1. 合唱 倉敷市合唱連盟

「レクイエム」より フォーレ 作曲

- ・入祭唱およびキリエ(Introitus・Kyrie)
- ・サントウス(Sanctus)
- ・レベラメ(Libera me)

指揮 小山 裕章
管弦楽 倉敷管弦楽団

2. 三曲 倉敷三曲同好会

鶯の唄 坂本 勉 作曲

箏独奏 白神 明恵
独唱 古賀 信子
指揮 小山 裕章
合唱 倉敷市民合唱団

3. 合唱 倉敷少年少女合唱団

・はるかなあなた

マリオ 作曲
薩摩 忠 作詞
石丸 寛 編曲

・美しいチロル

オーストリア民謡
仔熊 次郎 訳詞
江波 照一 訳詞
薬師神武夫 編曲

・グリーンスリーブス

イングランド民謡
中山 知子 訳詞
若松 正司 編曲

指揮 河合 健
伴奏 河合 恵子

尺八、の師匠で結成した。その目的は倉敷市における邦楽文化の向上及び、後継者の育成で当初会員38名で発足した。現在は会員も100名を擁し、毎年定期演奏会の開催及び、合奏研究会を実施し、会員の親睦を図ると共に、倉敷市における邦楽文化の振興に貢献している団体である。

倉敷少年少女合唱団

赤木先生に私達合唱団の顧問になっていただいたのは、昭和49年の4月であった。丁度、倉敷公民館講座「子どもコーラス教室」が終了し倉敷少年少女合唱団として独立した時のことで顧問になっていただくようお願いしたところ、快く引き受けてくださった。以来、入団式のあいさつをしていただいたり、何くれとなくお世話してくださった。昭和54年の7月に沖縄県少年少女合唱連盟の招きを受け、那覇市に演奏旅行に行くことになり朝早く倉敷駅へ集合していた時、赤木先生がわざわざ見送りに来てくださったことがある。私達は大いに感謝したものである。先生はよくライストチャーチのタウンホールの話をしてくださった。その話を聞くたびに是非そこで演奏してみたいものだと思っていたが、今年の夏いよいよ実現することができるようになった。赤木先生が生きていらっしゃったらどんなに喜んでいただけたらと思うと感慨無量である。

倉敷市民吹奏楽団グリーンハーモニー

倉敷市民吹奏楽団は今年で結成15年を迎える吹奏楽団です。茶屋町を中心として結成されたこの楽団も現在では岡山方面からも参加し団員も80名をこす吹奏楽団となりました。

昨年13回の定期演奏会を開催し、また12回の定期演奏会では管弦楽のための「高梁川」(団伊玖磨作曲)を吹奏楽に編曲して演奏し、昨年は岡山県の合唱フェスティバルや、倉敷市民音楽祭に賛助出演し地域の音楽活動に積極的に参加している楽団です。

倉敷管弦楽団

“美しい音色と良いアンサンブルで生命のある音楽を”合言葉に専門家と高い演奏技術を持つアマチュアから成る倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さに溢れ、熟気に満ちた楽団で、バロックから現代曲まで幅広い演奏活動で岡山県を代表する楽団として今年で10年目を迎えます。

現在団員数は80数名にのぼり、定期演奏会を毎年1回開くほか、いろいろな演奏会を年に2-3回こなしていますが、美しい弦の響きには定評があり、なごやかでマナーのよいAクラスのノンプロオーケストラとの高い評価を受けています。

曲目について

鶯の唄

この曲は島崎藤村の詩に坂本勉が作曲したもので第一箏、第二箏、第三箏、十七絃と、それに尺八一部と二部に分けてオーケストラのように楽器編成し、唄は合唱と独唱で、早春の山里に遊ぶ鶯の心を美しく唄いあげたものであり、コルチェルト風な交声曲で厳しい寒さの冬を表わした第一楽章、アリア風な第二楽章、うららかに春の喜びを唄うワルツ風の第三楽章からできている。

昭和24年作曲

菊の栄

この曲は菊原検校13回忌に検校の徳を讃えて作曲した追善曲で、箏と三絃の独奏部と、合奏部には第一箏、第二箏、十七絃、三絃、尺八、笙、打楽器、それに女声二部の合唱とで編成され、曲の内容には鶴の声の或る節と又、三絃の本手の感じなどを織り込んだもとである。

昭和31年2月作曲

出演団体紹介

倉敷市合唱連盟

倉敷市合唱連盟は昭和38年より市民合唱祭を開催し、現在では毎年11月に市民会館において市民音楽祭一般の部（合唱の部）として歌いつがれています。現在の参加団体は、一般・職場・大学・少年少女合唱団など14団体で、約400名に近い団員が合唱運動の発展に協力しています。連盟の行事としては、市民音楽祭のほかに夏のアイビスクエアの広場におけるサマーコンサートがあり、毎夏の倉敷の行事として欠かせないものになっています。

倉敷三曲同好会

日本古来の伝統音楽である箏、三絃・尺八は高い風格を持ち、優美で柔らかな旋律により、日本人の心に深い感銘とやすらぎを与えるものである、終戦後生活の不安定や、思想の混乱期もすぎて、昭和二十五年頃より、邦楽愛好者も次第にふえて、文化の町にふさわしい機運が熟し、昭和37年2月、箏曲家故渡谷琴恵先生・尺八の故佐野敷山先生、白神嶺山先生、佐藤仰山の楽友が草案を練り、倉敷市に在住する、箏、三絃、

